



Cisco RF スイッチおよび Cisco uBR10-MC5X20S-D ケーブル インターフェイス ライン カードの ラックマウントおよびケーブル接続手順

このマニュアルでは、Cisco RF スイッチおよび Cisco uBR10-MC5X20S-D ケーブル インターフェイス ライン カードを搭載した Cisco uBR10012 Cable Modem Termination System (CMTS; ケーブル モデム終端システム) のラックマウント手順について説明します。さらに、Cisco RF スイッチとアクティブおよびバックアップ (protect) のケーブル インターフェイス ライン カード間を同軸ケーブルで接続する手順について説明します。このマニュアルの構成は、次のとおりです。

- [ラックマウント \(p.1\)](#)
- [ケーブル接続 \(p.6\)](#)
- [マニュアルの入手方法 \(p.15\)](#)
- [テクニカル サポート \(p.16\)](#)

ラックマウント

ここでは、Cisco RF スイッチの基本的なラックマウント手順について説明します。

梱包の中にラックマウント キットが含まれています。キットのラックマウント ブラケットは、標準の 19 インチ幅 4 本支柱ラックに Cisco RF スイッチを搭載するためのものです。



(注)

このラックマウント ブラケットは、23 インチの Telco ラックなど、他のラックには適しません。



注意

作業を進める前に、『Cisco RF Switch Regulatory Compliance and Safety Information』に記載されている安全上の注意事項を再確認してください。

必要な工具

Cisco RF スイッチのラックマウントには、次の工具が必要です。

- No. 2 プラス ドライバ
- 7/16 インチ マイナス ドライバ

シャーシへのブラケットの取り付け

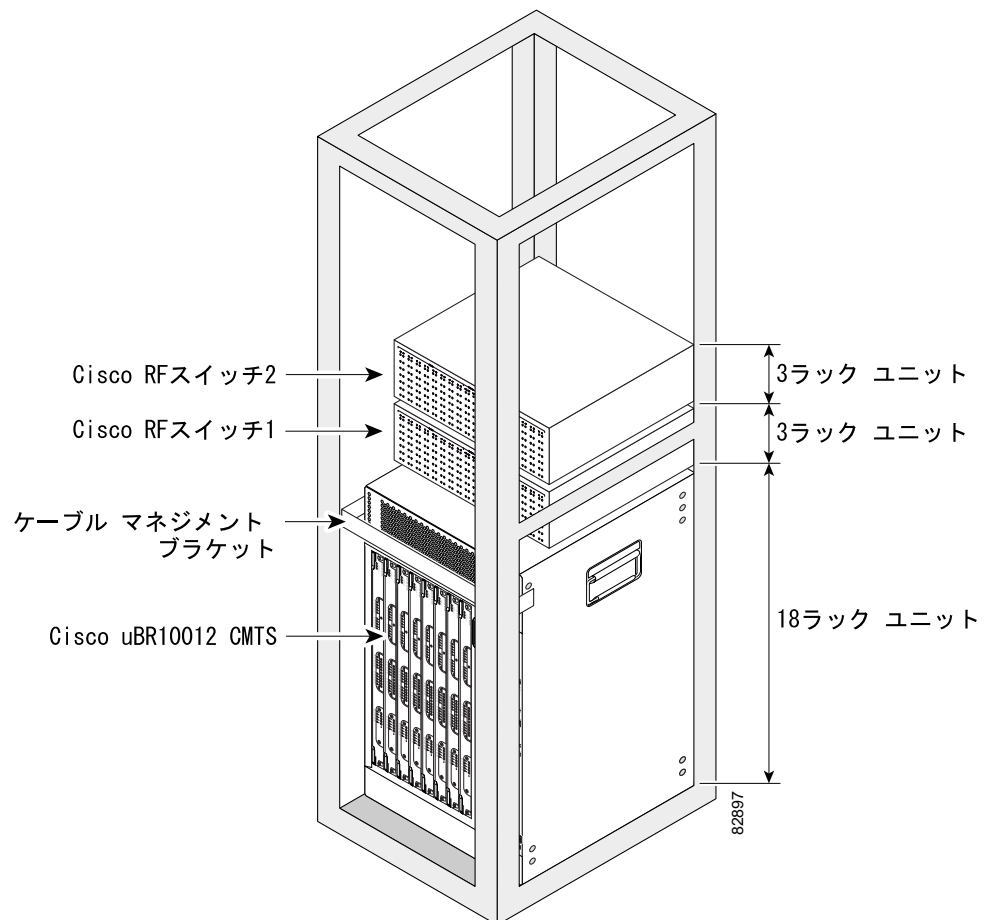
ラックにシャーシを搭載する前に、シャーシの前面または背面左右にラックマウントブラケットを取り付ける必要があります。



ヒント

MCX コネクタ側 (Cisco CMTS シャーシの RF ケーブル インターフェイス と結合) がラックの背面を向くように、Cisco RF スイッチの前面部分にラックマウントブラケットを取り付けることを推奨します (図 1 を参照)。

図 1 Cisco RF スイッチ シャーシのラックマウント (前面を揃える場合)

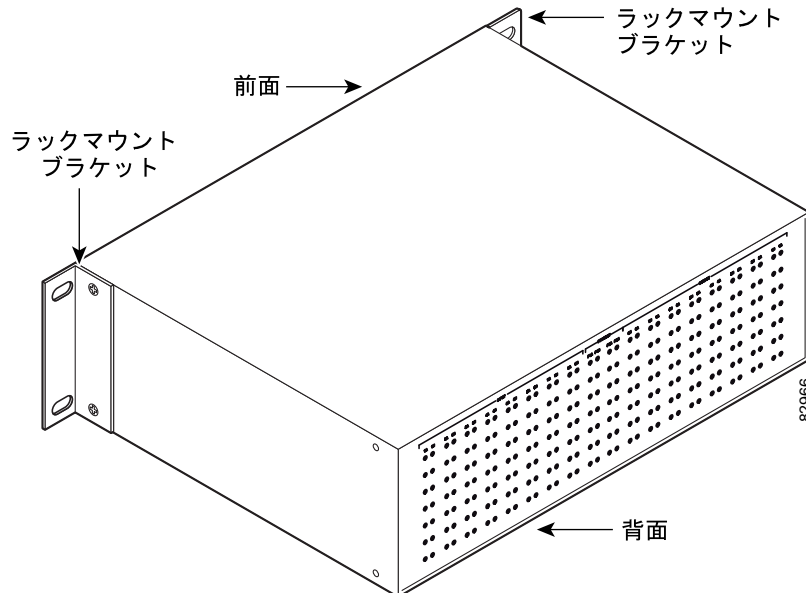


前面を揃える構成で、シャーシにラックマウントブラケットを取り付ける手順は、次のとおりです。

ステップ 1 シャーシ前面左右のネジ穴を確認します。

- ステップ 2** シャーシ前面右側のネジ穴に、最初のラックマウントブラケットを重ねます。ブラケットの合わせ方は、[図 2](#)を参照してください。

図 2 Cisco RF スイッチにラックマウント ブラケットを取り付ける手順（前面に取り付ける場合）



- ステップ 3** M5 x 8 mm のさらネジをラックマウント ブラケットとシャーシの側面に通します。No. 2 プラス ドライバでネジを締めます。
- ステップ 4** ステップ 1 ~ 3 を繰り返して、もう一方のラックマウント ブラケットを取り付けます。

シャーシのラックマウント

シャーシにブラケットを取り付けてから、装置ラックに適したネジを 4 本使用し、ラックの 2 本の支柱またはマウント ストリップにラックマウント ブラケットを固定することによって、Cisco RF スイッチを搭載します。



注意

ブラケットはシャーシ全体の重量を支えるので、必ず、4 本のネジをすべて使用して、2 個のラックマウント ブラケットをラックの支柱に固定してください。



ヒント

Cisco RF スイッチは、Cisco uBR10012 CMTS のすぐ上に搭載します。2 台の Cisco RF スイッチの間にスペースは不要です。



(注) 同じラックに AC シェルフを搭載する場合は、AC シェルフのマニュアルを参照して位置を確認してください (通常はラックの最下部に搭載します)。

ラックにシャーシを搭載する手順は、次のとおりです。

ステップ 1 シャーシのイーサネット コントローラ、電源装置、すべてのアップストリーム / ダウンストリーム スイッチ カードで、非脱落型ネジが全部きちんと締まっていることを確認します。

ステップ 2 ラックまでの間に邪魔になるものがないようにします。ラックが車輪付きの場合は、ブレーキがかかっているか、またはその他の方法でラックが固定されているかどうかを確認します。



注意 ステップ 3 ~ 6 は二人で作業してください。

ステップ 3 シャーシの前面が手前になるようにし、シャーシを持ち上げてラックまで運びます。



注意 怪我につながるので、急に身体をひねったり動かしたりしないでください。

ステップ 4 シャーシをスライドさせながら、(シャーシ前面または背面に取り付けた) ブラケットが装置ラック左右の支柱にあたるまでラックに押し込みます。

ステップ 5 ブラケットが支柱またはマウント ストリップに重なった状態で、ブラケットの穴がマウント ストリップの穴と重なるように、Cisco RF スイッチの位置を調整します。

ステップ 6 ブラケットとマウント ストリップに 1/32 x 3/8 の溝付きネジを 4 本とも (左右に 2 本ずつ) 差し込みます。



ヒント 下側のネジから先に差し込んでください。

ステップ 7 すべてのネジを締めます。

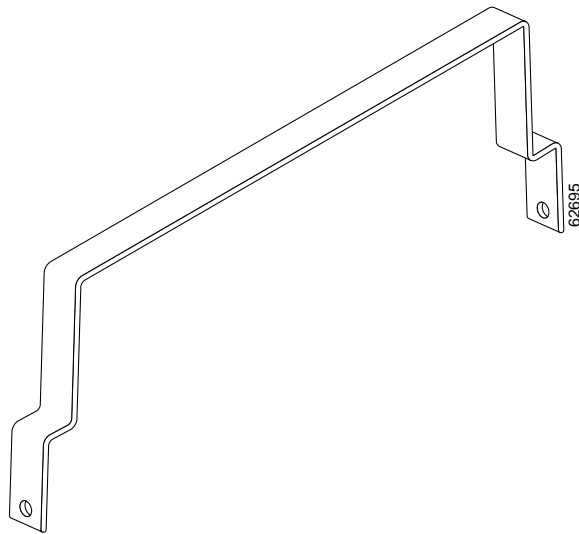
ケーブル マネジメント ブラケットの取り付け

Cisco uBR10012 CMTS 用のケーブル マネジメント ブラケットは、各 Cisco RF スイッチとともに梱包に含まれています (図 3 を参照)。このブラケットを使用して、シャーシ内の通気を適切に確保してください。



(注) このリファレンス デザインの場合、必要なケーブル マネジメント ブラケットは 1 つだけです。

図 3 ケーブル マネジメント ブラケット



Cisco uBR10012 シャーシにケーブル マネジメント ブラケットを取り付ける手順は、次のとおりです。

- ステップ 1 背面側左右のネジ穴を確認します。シャーシのケーブル インターフェイス ライン カードの幅に相当します。
- ステップ 2 Cisco uBR10012 シャーシ上部のネジ穴の 1 組と、ケーブル マネジメント ブラケットを合わせます。
- ステップ 3 M5 x 8 mm のプラス ネジを 2 本、ブラケットとシャーシに通します。No. 2 プラス ドライバでネジを締めます。

ケーブル接続

ここでは、Cisco RF スイッチ、アクティブおよびバックアップの Cisco uBR-MC5X20S-D ケーブル インターフェイス ライン カード間のケーブル接続に必要な手順について説明します。

バックアップ (protect) スキーム

システムで使用する N+1 の冗長バックアップ (protect) スキームは、主に、Cisco uBR10012 シャーシに搭載したケーブル インターフェイス ラインカードの数によって決まります。7+1 という 8 カードの冗長スキームでは、Cisco uBR10012 シャーシのすべてのスロットにケーブル インターフェイス ラインカードを搭載し、これらのカードに冗長性を与えることができます。他の冗長スキームを使用すれば、Cisco uBR10012 シャーシの一部のスロットにのみケーブル インターフェイス ラインカードを搭載させることもできます。

1 台の Cisco uBR10012 CMTS には、最大 8 枚の Cisco uBR-MC5X20S-D ケーブル インターフェイス ラインカードを搭載できます。各カードのケーブル インターフェイス数はダウンストリーム用が 5、アップストリーム用が 20 です。したがって、1 つのシャーシに装備できる最大インターフェイス数はダウンストリーム用が 40、アップストリーム用が 160 になります。この Cisco uBR10012 CMTS には 2 台の Cisco RF スイッチを接続できるので、同一シャーシで 1 ~ 7 枚のアクティブ ケーブル インターフェイス ラインカードを、バックアップ ケーブル インターフェイス ラインカード 1 枚でサポートするような冗長スキームを確立できます。

RF ケーブル アセンブリの仕様

ここでは、Cisco RF スイッチと Cisco CMTS 間で N+1 の冗長性をサポートするために必要な、同軸ケーブルとヘッダーブロック アセンブリの仕様について説明します。



(注) ここで紹介する仕様に従って独自のケーブル システムを使用することもできますが、Cisco CMTS 機能専用として設計された Cisco N+1 冗長リファレンス デザイン ケーブル ソリューション (組み立て済みの終端ケーブルバンドルの部品番号は、CAB-RFSW520TIMM および CAB-RFSW520TPMF) を使用されることを推奨します。

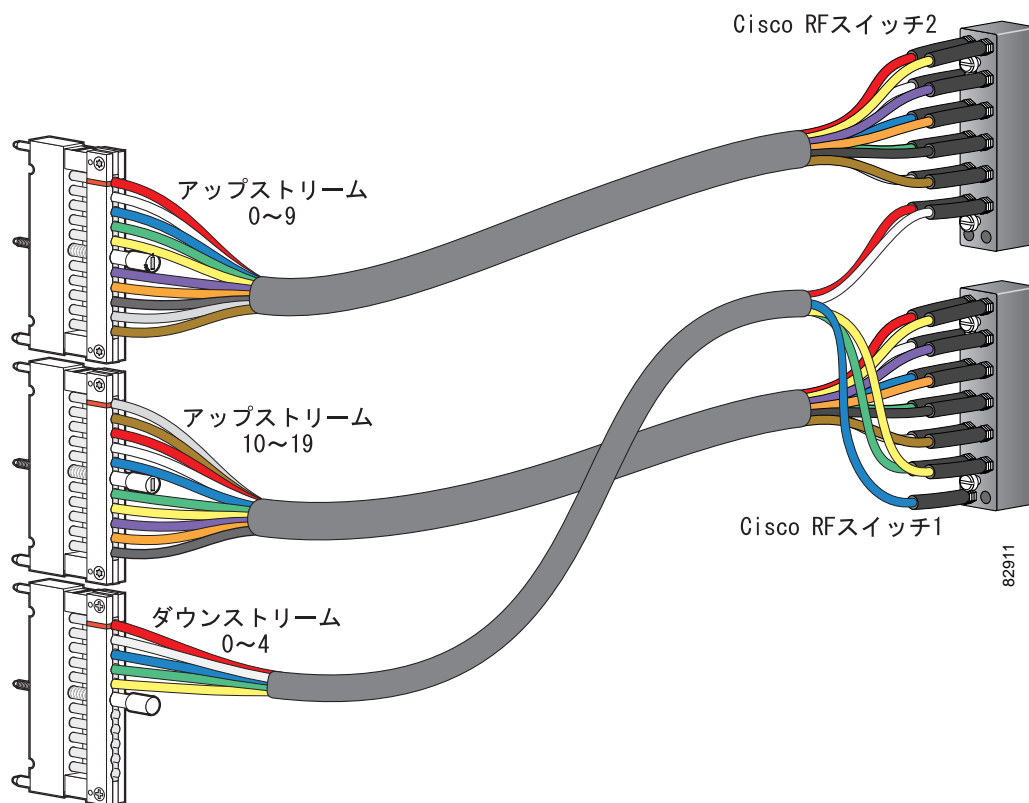


(注) このリファレンス デザインで使用したカスタム ケーブル、またはヘッダー ブロック、圧縮工具、コネクタなどのケーブル コンポーネントは、White Sands Engineering (1-800-JUMPERS) などのカスタム ケーブル 製造会社から調達できます。

同軸ケーブルバンドル

Cisco N+1 ケーブル アセンブリ用の認定同軸ケーブルバンドルは、Belden YR46940 です。このケーブルバンドルは、Belden YR46940 タイプの同軸ケーブルの個別セグメント 5 本または 10 本を 1 つにまとめて外装で覆ってあります。バンドル内のケーブルごとに色が異なります (図 4 を参照)。

図4 ケーブルバンドル、ヘッダーブロック、ケーブルホルダー



ケーブルホルダーおよびヘッダーブロック

ケーブルホルダー

ユニバーサルケーブルホルダーを使用して、MC520 ケーブルインターフェイスカードにケーブルを接続できます (ケーブルバンドルにケーブルホルダーを取り付ける手順については、『Quick Start Guide—Cabling the Cisco uBR10-MC5X20S-D Cable Interface Line Card』または『Cisco uBR10-MC5X20S Cable Interface Line Card』を参照)。



(注) ユニバーサルケーブルホルダーは、未実装のケーブルキットには含まれていません。

ヘッダーブロック

ヘッダーブロックは、同軸ケーブルの個々のセグメントが接続され、Cisco RF スイッチと結合させる MCX コネクタを保持します。必ず、ヘッダーブロックの向きを確認してから、ケーブルを差し込んでください。



(注) このケーブルソリューションで使用しているヘッダーブロックは、上下を識別できるように、上端に少し傾斜がついています。また、ヘッダーブロックに付いているアライメントピンは、ヘッダーブロックを上下逆さまに接続できないような構造になっています。



(注) ヘッダーブロックから MCX コネクタを取り外さなければならない場合は、Cisco RF スイッチに付属している取り外し用の工具を使用してください。

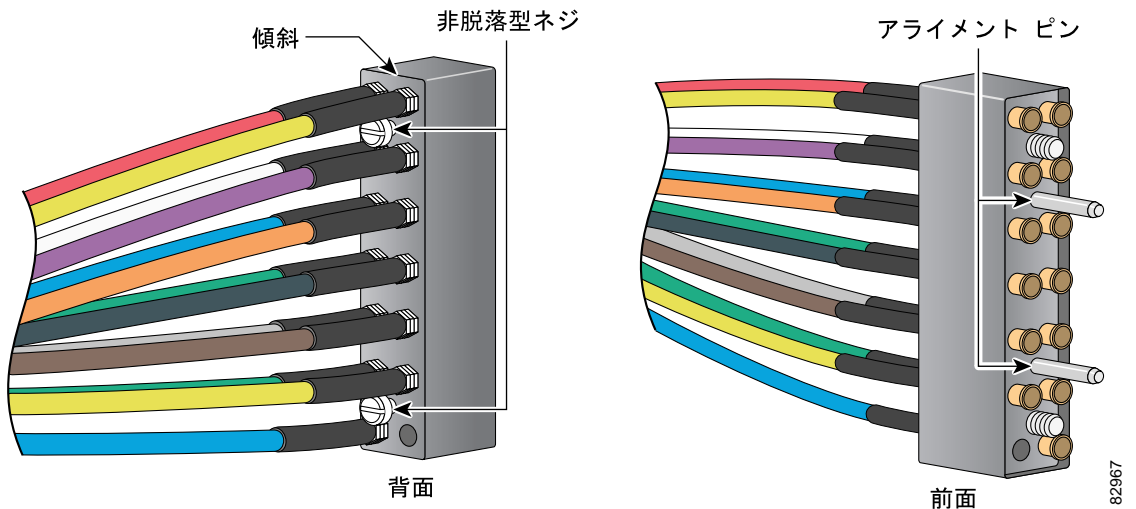
Cisco RF スイッチへの RF ケーブルの接続

Cisco RF スイッチの CMTS、Protect、Cable Plant のいずれかの部分に RF ケーブルを接続します。つまり、RF ケーブルバンドルの全セグメントを終端しているヘッダーブロックを Cisco RF スイッチの次のいずれかの場所に接続します。

- CMTS の下の 8 つの RF 接続グループの 1 つ — このグループの RF ケーブルは、アクティブのラインカードとして指定されたケーブルインターフェイスラインカードに接続します。
- Protect の下の 2 つの RF 接続グループの 1 つ — このグループの RF ケーブルは、バックアップのラインカードとして指定されたケーブルインターフェイスラインカードに接続します。
- Cable Plant の下の 8 つの RF 接続グループの 1 つ — このグループの RF ケーブルは、ケーブルヘッドエンドまたはハブ上の同軸ケーブルまたは光ファイバケーブルトランシーバに接続します。

図 5 は、Cisco RF スイッチに接続するヘッダーブロックの詳細図です。

図 5 Cisco RF スイッチのヘッダー ブロック



ヘッダーブロックを差し込んで接続する手順は、次のとおりです。

- ステップ 1** 「CMTS/Protect のケーブル接続」のマッピングに従って、ヘッダーブロックに MCX コネクタを差し込みます。
- ステップ 2** ケーブルを軽く引っ張り、ヘッダーブロックにケーブルがきちんと装着されているかどうかを確認してください。
- ステップ 3** ヘッダーブロックの傾斜している側を上にし、ヘッダーブロックの 2 本のアライメントピンを Cisco RF スイッチの CMTS、Protect、または Cable Plant 部分の下にある RF コネクタグループの対応する 2 つの穴に合わせます。ヘッダーブロックの上下に均等な力をかけて押しつけます。

ステップ 4 ヘッダー ブロックの上部と下部の非脱落型ネジをマイナス ドライバで締めて、外れないように固定します。



注意

締めすぎないように注意してください。5～7インチ/ポンドのトルクでネジを締めることを推奨します。



ヒント

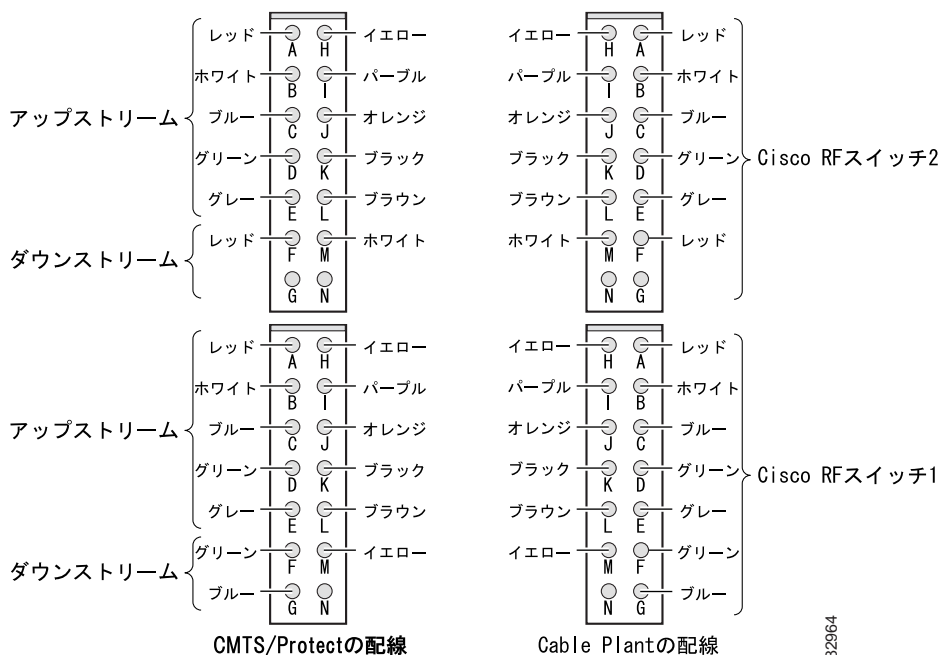
または、先に Cisco RF スイッチにヘッダー ブロックを取り付けてから、MCX コネクタを差し込みます。ネジを完全に締めてヘッダー ブロックを Cisco RF スイッチに固定する前に、ケーブルを軽く引っ張り、きちんと装着されているかどうかを確認してください。

CMTS/Protect のケーブル接続

ここでは、アクティブおよびバックアップのライン カードから Cisco RF スイッチへの RS ケーブルのマッピングについて説明します。ヘッダー ブロックのケーブル側から見たヘッダー ブロック / ケーブル指定については、[図 6](#)を参照してください。

Cisco uBR10012 シャーシに搭載されているケーブルインターフェイスラインカードと Cisco RF スイッチを RF ケーブルで接続する場合は、ケーブル バンドル内のすべての RF ケーブルを Cisco uBR10012 シャーシに搭載された同一のケーブル インターフェイス ライン カード上のインターフェイスに接続する必要があります (ラインカードと RS スイッチ間のポート マッピングについては、[表 1](#)、[表 2](#)、[表 3](#)、および[表 4](#)を参照)。

図 6 CMTS/Protect ヘッダーの配線 (Cable Plant ヘッダーとの比較)



82964

表 1 RF スイッチ ポートおよびラインカードポート (ラインカードスロット 8/0 および 8/1 の場合)

アクティブラインカードスロット 8/0 RF スイッチポート	RF スイッチポート	アクティブラインカードスロット 8/1 RF スイッチポート	RF スイッチポート	ケーブルの色
US0	SW2-1A	US0	SW2-2A	レッド
US1	SW2-1B	US1	SW2-2B	ホワイト
US2	SW2-1C	US2	SW2-2C	ブルー
US3	SW2-1D	US3	SW2-2D	グリーン
US4	SW2-1H	US4	SW2-2H	イエロー
US5	SW2-1I	US5	SW2-2I	パープル
US6	SW2-1J	US6	SW2-2J	オレンジ
US7	SW2-1K	US7	SW2-2K	ブラック
US8	SW2-1E	US8	SW2-2E	グレー
US9	SW2-1L	US9	SW2-2L	ブラウン
US10	SW1-1E	US10	SW1-2E	グレー
US11	SW1-1L	US11	SW1-2L	ブラウン
US12	SW1-1A	US12	SW1-2A	レッド
US13	SW1-1B	US13	SW1-2B	ホワイト
US14	SW1-1C	US14	SW1-2C	ブルー
US15	SW1-1D	US15	SW1-2D	グリーン
US16	SW1-1H	US16	SW1-2H	イエロー
US17	SW1-1I	US17	SW1-2I	パープル
US18	SW1-1J	US18	SW1-2J	オレンジ
US19	SW1-1K	US19	SW1-2K	ブラック
DS0	SW2-1F	DS0	SW2-2F	レッド
DS1	SW2-1M	DS1	SW2-2M	ホワイト
DS2	SW1-1G	DS2	SW1-2G	ブルー
DS3	SW1-1F	DS3	SW1-2F	グリーン
DS4	SW1-1M	DS4	SW1-2M	イエロー

表 2 RF スイッチ ポートおよびラインカード ポート (ラインカードスロット 7/0 および 7/1 の場合)

アクティブ ライン カードスロット 7/0 RF スイッチ – ポート	RF スイッチ – ポート	アクティブ ライン カードスロット 7/1 RF スイッチ – ポート	RF スイッチ – ポート	ケーブルの色
US0	SW2-3A	US0	SW2-4A	レッド
US1	SW2-3B	US1	SW2-4B	ホワイト
US2	SW2-3C	US2	SW2-4C	ブルー
US3	SW2-3D	US3	SW2-4D	グリーン
US4	SW2-3H	US4	SW2-4H	イエロー
US5	SW2-3I	US5	SW2-4I	パープル
US6	SW2-3J	US6	SW2-4J	オレンジ
US7	SW2-3K	US7	SW2-4K	ブラック
US8	SW2-3E	US8	SW2-4E	グレー
US9	SW2-3L	US9	SW2-4L	ブラウン
US10	SW1-3E	US10	SW1-4E	グレー
US11	SW1-3L	US11	SW1-4L	ブラウン
US12	SW1-3A	US12	SW1-4A	レッド
US13	SW1-3B	US13	SW1-4B	ホワイト
US14	SW1-3C	US14	SW1-4C	ブルー
US15	SW1-3D	US15	SW1-4D	グリーン
US16	SW1-3H	US16	SW1-4H	イエロー
US17	SW1-3I	US17	SW1-4I	パープル
US18	SW1-3J	US18	SW1-4J	オレンジ
US19	SW1-3K	US19	SW1-4K	ブラック
DS0	SW2-3F	DS0	SW2-4F	レッド
DS1	SW2-3M	DS1	SW2-4M	ホワイト
DS2	SW1-3G	DS2	SW1-4G	ブルー
DS3	SW1-3F	DS3	SW1-4F	グリーン
DS4	SW1-3M	DS4	SW1-4M	イエロー

表 3 RF スイッチ ポートおよびラインカードポート (ラインカードスロット 6/0 および 6/1 の場合)

アクティブラインカードスロット 6/0 RF スイッチポート	RF スイッチポート	アクティブラインカードスロット 6/1 RF スイッチポート	RF スイッチポート	ケーブルの色
US0	SW2-5A	US0	SW2-6A	レッド
US1	SW2-5B	US1	SW2-6B	ホワイト
US2	SW2-5C	US2	SW2-6C	ブルー
US3	SW2-5D	US3	SW2-6D	グリーン
US4	SW2-5H	US4	SW2-6H	イエロー
US5	SW2-5I	US5	SW2-6I	パープル
US6	SW2-5J	US6	SW2-6J	オレンジ
US7	SW2-5K	US7	SW2-6K	ブラック
US8	SW2-5E	US8	SW2-6E	グレー
US9	SW2-5L	US9	SW2-6L	ブラウン
US10	SW1-5E	US10	SW1-6E	グレー
US11	SW1-5L	US11	SW1-6L	ブラウン
US12	SW1-5A	US12	SW1-6A	レッド
US13	SW1-5B	US13	SW1-6B	ホワイト
US14	SW1-5C	US14	SW1-6C	ブルー
US15	SW1-5D	US15	SW1-6D	グリーン
US16	SW1-5H	US16	SW1-6H	イエロー
US17	SW1-5I	US17	SW1-6I	パープル
US18	SW1-5J	US18	SW1-6J	オレンジ
US19	SW1-5K	US19	SW1-6K	ブラック
DS0	SW2-5F	DS0	SW2-6F	レッド
DS1	SW2-5M	DS1	SW2-6M	ホワイト
DS2	SW1-5G	DS2	SW1-6G	ブルー
DS3	SW1-5F	DS3	SW1-6F	グリーン
DS4	SW1-5M	DS4	SW1-6M	イエロー

表 4 RF スイッチ ポートおよびラインカード ポート (ラインカードスロット 5/0 および 5/1 の場合)

アクティブ ライン カードスロット 5/0 RF スイッチ ポート	RF スイッチ ポート	バックアップ ライ ンカードスロット 5/1 RF スイッチ ポート	RF スイッチ ポート	ケーブルの色
US0	SW2-7A	US0	SW2-P1A	レッド
US1	SW2-7B	US1	SW2-P1B	ホワイト
US2	SW2-7C	US2	SW2-P1C	ブルー
US3	SW2-7D	US3	SW2-P1D	グリーン
US4	SW2-7H	US4	SW2-P1H	イエロー
US5	SW2-7I	US5	SW2-P1I	パープル
US6	SW2-7J	US6	SW2-P1J	オレンジ
US7	SW2-7K	US7	SW2-P1K	ブラック
US8	SW2-7E	US8	SW2-P1E	グレー
US9	SW2-7L	US9	SW2-P1L	ブラウン
US10	SW1-7E	US10	SW1-P1E	グレー
US11	SW1-7L	US11	SW1-P1L	ブラウン
US12	SW1-7A	US12	SW1-P1A	レッド
US13	SW1-7B	US13	SW1-P1B	ホワイト
US14	SW1-7C	US14	SW1-P1C	ブルー
US15	SW1-7D	US15	SW1-P1D	グリーン
US16	SW1-7H	US16	SW1-P1H	イエロー
US17	SW1-7I	US17	SW1-P1I	パープル
US18	SW1-7J	US18	SW1-P1J	オレンジ
US19	SW1-7K	US19	SW1-P1K	ブラック
DS0	SW2-7F	DS0	SW2-P1F	レッド
DS1	SW2-7M	DS1	SW2-P1M	ホワイト
DS2	SW1-7G	DS2	SW1-P1G	ブルー
DS3	SW1-7F	DS3	SW1-P1F	グリーン
DS4	SW1-7M	DS4	SW1-P1M	イエロー

Cisco RF スイッチと Cisco uBR10012 CMTS 間のケーブル マッピングについては、次の注意事項に従ってください。

- ヘッダーブロック上のラベルが A ~ E および H ~ L のケーブルインターフェイスポートはすべて、Cisco uBR10012 シャーシのアップストリーム インターフェイスに接続する必要があります。
- F、G、M のラベルの付いたケーブル インターフェイスポートは、ダウンストリーム接続専用ポートです。
- ヘッダーブロック上のケーブル インターフェイスポートのうち、N のラベルの付いたポートは、Cisco RF スイッチのいずれのポートにも接続されません。したがって、このポートを Cisco uBR10012 CMTS 上のケーブル インターフェイスに接続しないでください。



(注) N+1 の冗長構成を採用している場合、このマッピングはアクティブとバックアップ両方のケーブルインターフェイスラインカードに当てはまります。アクティブとバックアップのケーブルインターフェイスラインカードの区別は、ヘッダーブロックが Cisco RF スイッチのアクティブ（スイッチ側）スロットグループに差し込まれているか、それともバックアップスロットグループに差し込まれているかによって、また、指定した設定によって決まります。『Cisco Cable Modem Termination System Feature Guide』の「N+1 Redundancy for the Cisco CMTS」の章を参照してください。

ケーブル マネジメント ブラケット（オプション）を取り付けてから、接続スキームに従って、同じケーブルインターフェイスラインカードのコネクタにケーブルを接続します。

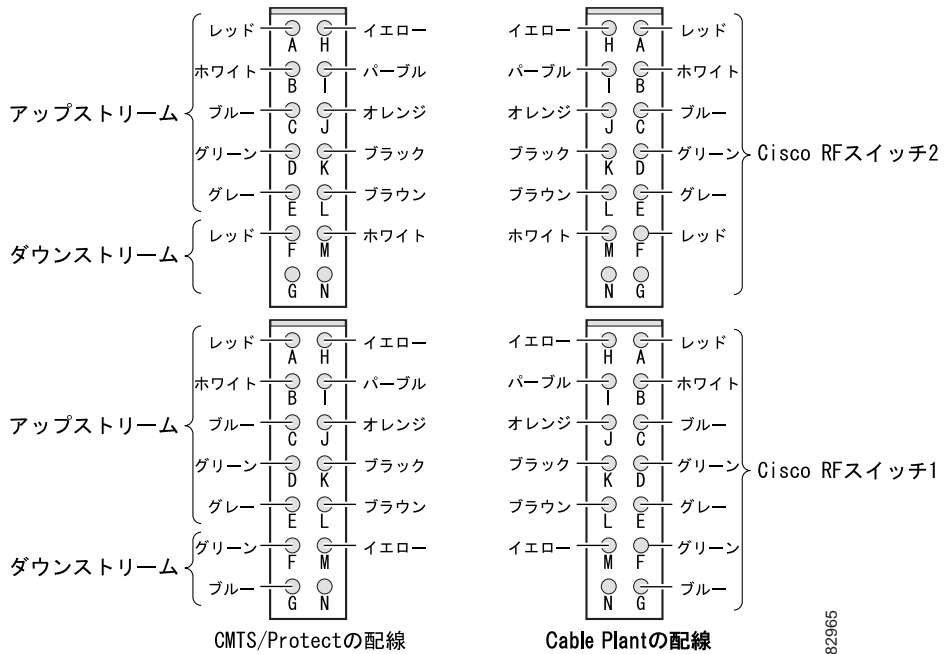
Cable Plant のケーブル接続

Cable Plant ケーブルヘッダーは、CMTS/Protect ヘッダーとは逆に配線します（図7を参照）。接続方法は、「Cisco RF スイッチへの RF ケーブルの接続」と同じです。



(注) Cisco RF スイッチの Cable Plant スロットには、CMTS/Protect とは逆の順序で番号が付いています。右側がスロット番号1です。ヘッダーブロックのケーブル側から見たヘッダーブロック / ケーブル指定については、図7を参照してください。

図7 Cable Plant ケーブルヘッダーの配線（CMTS/Protect ヘッダーとの比較）



82965

マニュアルの入手方法

ここでは、シスコ製品のマニュアルを入手する方法について説明します。

WWW

WWW 上の次の URL から、シスコ製品の最新資料を入手することができます。

<http://www.cisco.com>

<http://www.cisco.com/jp>

各国語版のマニュアルは、次の URL から入手できます。

http://www.cisco.com/public/countries_languages.shtml

Documentation CD-ROM

シスコ製品のマニュアルおよびその他の資料は、製品に付属の Cisco Documentation CD-ROM パッケージでご利用いただけます。Documentation CD-ROM は毎月更新されるので、印刷資料よりも新しい情報が得られます。この CD-ROM パッケージは、単独または年間契約で入手することができます。

マニュアルの発注方法

シスコ製品のマニュアルは、次の方法でご発注いただけます。

- Cisco.com 登録ユーザ（Cisco Direct Customer）の場合、Networking Products MarketPlace からシスコ製品のマニュアルを発注できます。次の URL にアクセスしてください。
http://www.cisco.com/cgi-bin/order/order_root.pl
- Cisco.com 登録ユーザの場合、Subscription Store からオンラインで Documentation CD-ROM を発注できます。次の URL にアクセスしてください。
<http://www.cisco.com/go/subscription>
- Cisco.com に登録されていない場合、製品を購入された代理店へお問い合わせください。

テクニカル サポート

シスコシステムズでは、技術上のあらゆる問題の支援窓口として [Cisco.com](http://www.cisco.com) を運営しています。お客様およびパートナーは、[Technical Assistance Center \(TAC\) Web](http://www.cisco.com) サイトのオンライン ツールからオンライン マニュアル、トラブルシューティングに関するヒント、およびコンフィギュレーション例を入手できます。[Cisco.com](http://www.cisco.com) にご登録済みのお客様は、[TAC Web](http://www.cisco.com) サイトで提供するすべてのテクニカル サポート リソースをご利用いただけます。[Cisco.com](http://www.cisco.com) へのご登録については、製品を購入された代理店へお問い合わせください。

Cisco.com

[Cisco.com](http://www.cisco.com) は、いつでもどこからでも、シスコシステムズの情報、ネットワーキング ソリューション、サービス、プログラム、およびリソースにアクセスできる対話形式のネットワーク サービスです。

[Cisco.com](http://www.cisco.com) は統合インターネット アプリケーションであり、優れた使いやすいツールとして、広範囲の機能やサービスを通してお客様に次のような利点を提供します。

- 業務の円滑化と生産性の向上
- オンライン サポートによる技術上の問題の解決
- ソフトウェア パッケージのダウンロードおよびテスト
- シスコのトレーニング資料および製品の発注
- スキル査定、トレーニング、認定プログラムへのオンライン登録

また、[Cisco.com](http://www.cisco.com) に登録することにより、各ユーザに合った情報やサービスをご利用いただくことができます。[Cisco.com](http://www.cisco.com) には、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.cisco.com>

<http://www.cisco.com/jp>

TAC

シスコの製品、テクノロジー、またはソリューションについて技術的な支援が必要な場合には、[TAC](http://www.cisco.com) をご利用いただくことができます。[TAC](http://www.cisco.com) では、2 種類のサポートを提供しています。[TAC Web](http://www.cisco.com) サイトと [TAC Escalation Center](http://www.cisco.com) です。

[TAC](http://www.cisco.com) への問い合わせは、問題の緊急性に応じて分類されます。

- プライオリティ レベル 4 (P4) — シスコ製品の機能、インストール、基本的なコンフィギュレーションについて、情報または支援が必要な場合。
- プライオリティ レベル 3 (P3) — ネットワークのパフォーマンスが低下している。ネットワークが十分に機能していないが、ほとんどの業務運用は継続できる場合。
- プライオリティ レベル 2 (P2) — ネットワークのパフォーマンスが著しく低下したため業務に重大な影響があるにもかかわらず、対応策が見つからない場合。
- プライオリティ レベル 1 (P1) — ネットワークがダウンし、すぐにサービスを回復しなければ業務に致命的な損害が発生するにもかかわらず、対応策が見つからない場合。

問題のプライオリティおよびサービス契約の内容に応じて、適切な [TAC](http://www.cisco.com) サービスを選択してください。

TAC Web サイト

P3 および P4 レベルの問題については、TAC Web サイトを利用して、お客様ご自身で問題を解決し、コストと時間を節約することができます。このサイトでは各種のオンラインツール、ナレッジベース、およびソフトウェアを、いつでも必要なときに利用できます。TAC Web サイトには、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/tac>

シスコシステムズとサービス契約を結んでいるお客様、パートナー、リセラーは、TAC Web サイトのすべてのテクニカル サポート リソースをご利用いただけます。TAC Web サイトにアクセスするには、Cisco.com のログイン ID とパスワードが必要です。サービス契約が有効で、ログイン ID またはパスワードを取得していない場合は、次の URL にアクセスして登録手続きを行ってください。

<http://www.cisco.com/register/>

Cisco.com 登録ユーザは、TAC Web サイトで技術上の問題を解決できなかった場合、TAC Case Open ツールのオンラインサービスを利用することができます。TAC Case Open ツールの URL は次のとおりです。

<http://www.cisco.com/tac/caseopen>

インターネットでアクセスする場合には、TAC Web サイトで P3 および P4 レベルの情報を参照することをお勧めします。

Japan TAC Web サイト

Japan TAC Web サイトでは、利用頻度の高い TAC Web サイト (<http://www.cisco.com/tac>) のドキュメントを日本語で提供しています。Japan TAC Web サイトには、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/jp/go/tac>

サポート契約を結んでいない方は、「ゲスト」としてご登録いただくだけで、Japan TAC Web サイトのドキュメントにアクセスできます。

Japan TAC Web サイトにアクセスするには、Cisco.com のログイン ID とパスワードが必要です。ログイン ID とパスワードを取得していない場合は、次の URL にアクセスして登録手続きを行ってください。

<http://www.cisco.com/jp/register/>

TAC Escalation Center

TAC Escalation Center では、P1 および P2 レベルの問題に対応しています。このレベルに分類されるのは、ネットワークの機能が著しく低下し、業務の運用に重大な影響がある場合です。TAC Escalation Center にお問い合わせいただいた P1 または P2 の問題には、TAC エンジニアが対応します。

TAC フリーダイヤルの国別電話番号は、次の URL を参照してください。

<http://www.cisco.com/warp/public/687/Directory/DirTAC.shtml>

ご連絡に先立って、お客様が契約しているシスコ サポート サービスがどのレベルの契約となっているか（たとえば、SMARTnet、SMARTnet Onsite、または Network Supported Accounts [NSA; ネットワーク サポート アカウント] など）、お客様のネットワーク管理部門にご確認ください。お電話の際は、お客様のサービス契約番号およびご使用の製品のシリアル番号をお手元にご用意ください。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

CCIP、Cisco Arrow のロゴ、Cisco Powered Network のマーク、Cisco Systems Verified のロゴ、Cisco Unity、Follow Me Browsing、FormShare、iQ Breakthrough、iQ Expertise、iQ FastTrack、iQ のロゴ、iQ Net Readiness Scorecard、Networking Academy、ScriptShare、SMARTnet、TransPath、Voice LAN は、Cisco Systems, Inc. の商標です。Changing the Way We Work, Live, Play, and Learn、Discover All That's Possible、The Fastest Way to Increase Your Internet Quotient、iQuick Study は、Cisco Systems, Inc. のサービスマークです。Aironet、ASIST、BPX、Catalyst、CCDA、CCDP、CCIE、CCNA、CCNP、Cisco、Cisco Certified Internetwork Expert のロゴ、Cisco IOS、Cisco IOS のロゴ、Cisco Press、Cisco Systems、Cisco Systems Capital、Cisco Systems のロゴ、Empowering the Internet Generation、Enterprise/Solver、EtherChannel、EtherSwitch、Fast Step、GigaStack、Internet Quotient、IOS、IP/TV、LightStream、MGX、MICA、Networkers のロゴ、Network Registrar、Packet、PIX、Post-Routing、Pre-Routing、RateMUX、Registrar、SlideCast、StrataView Plus、Stratm、SwitchProbe、TeleRouter、VCO は、米国および一部の国における Cisco Systems, Inc. または関連会社の登録商標です。

このマニュアルまたは Web サイトで言及している他の商標はいずれも、それぞれの所有者のもです。「パートナー」という用語を使用しているも、シスコシステムズと他社とのパートナー関係を意味するものではありません。(0208R)

Copyright © 2002, Cisco Systems, Inc.
All rights reserved.

お問い合わせは、購入された各代理店へご連絡ください。

シスコシステムズでは以下のURLで最新の日本語マニュアルを公開しております。
本書とあわせてご利用ください。

Cisco Connection Online Japan
<http://www.cisco.com/japanese/manuals/>

日本語マニュアルの購入を希望される方は、以下のURLからお申し込みいただけます。

シスコシステムズマニュアルセンター
<http://www2.hipri.com/cisco/>

上記の両サイトで、日本語マニュアルの記述内容に関するご意見もお受けいたしますので、
どうぞご利用ください。

なお、技術内容に関するご質問は、製品を購入された各代理店へお問い合わせください。



シスコシステムズ株式会社

URL:<http://www.cisco.com/jp/>

問合せ URL:<http://www.cisco.com/jp/service/contactcenter/>

〒107-0052 東京都港区赤坂 2-14-27 国際新赤坂ビル東館

TEL.03-5549-6500 FAX.03-5549-6501